# ＳＤＧｓ“持続可能な養老のまちづくり”

近年、排出するごみの量が増えています。ごみの量を減らすために自分でできることから始めましょう。
食べ残しをしないなど、食品ロスをなくせばごみを減らすことができます。（リデュース＝ごみを出さない生活）
※「食品ロス」とは、本来食べられるのに捨てられてしまう食品のことです。

**家庭からの食品ロス**
- 料理を作り過ぎて食べきれなかった。
- 冷蔵庫に入れたまま、賞味（消費）期限が過ぎてしまった。

**レストラン、スーパーなどからの食品ロス**
- 客が注文した料理を食べ残した。
- 商品の賞味（消費）期限が過ぎた。

※一人あたりの年間の食品ロスは、60回分の食事量と同じくらいです。

### 食品ロスを減らすために

1．買い物をする前に冷蔵庫をチェックする。
2．空腹時に買い物をしない。
3．すぐに食べるつもりのものは、棚の手前から購入する。（賞味（消費）期限切れによるスーパーでの食品ロスを減らす）
4．期間限定や特売セールなどの売り文句によるまとめ買いに注意する。
5．食材を使い切る工夫をする。
6．残さずに食べる。（食べられる分だけの量にする）

◎私たちは便利さ、快適さを追求し、今の生活にどっぷりと浸かっています。日本には古来から「もったいない」文化があります。年の初めに、今一度生活を見直して、物を大切にする、最後まで使い切るなどを意識し、実行しましょう。
次の世代のために住みやすい地球を守っていくため、ごみの減量に取り組みましょう。

問生活と環境を考える会　☎32−2386
住民環境課　☎32−1104

# 土地改良区合併推進協議会が設立されました

町では、組合員の負担軽減や組織の体制強化を図るため、土地改良区の合併や事務統合を推進しています。
この度「養老町大巻土地改良区」と「養老町小坪土地改良区」の統合に向け、12月６日（月）に合併推進協議会が設立されました。今後は、本協議会にて協議を重ね、令和５年４月の合併を目指します。

問産業観光課　☎32−1108

# ご長寿おめでとうございます

12月９日（木）に田口　幸さん（養老）が100歳を迎え、大橋孝町長より長寿のお祝い状とお祝い金が贈呈されました。
文筆が得意な幸さんは、俳句を趣味にしており、以前には新聞にも取り上げられました。「毎日頭を使うことが健康の秘訣です」と家族も話されるように、今でも毎日、Ａ４サイズ１ページもの日記を手書きで書かれているそうです。
この日は、ご家族に誕生日をお祝いされ、にこやかに過ごされていました。

お祝い状を手に、笑顔の幸さん（下段右）